

中広中学校だより

平成22年4月30日(金) NO. 3

校訓 清純・平和・希望

学校教育目標・・・「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

やる木(やる気)に水をやろう！

1日10時間勉強の期間を延長します

新学期、新学年で3週間がたとうとしています。「光陰矢のごとし」「少年老いやすく、学なりがたし」という先人の言葉があります。一人一人の1日の時間は24時間(1440分、86400秒)なのに、人によってできたりできなかったり、成果や結果が違ってくるのはなぜなのでしょう。

先の始業式で1日10時間勉強を呼びかけました。4月27日(火)までに延べ18人の諸君が挑戦してくれています。最初の第一期は4月いっぱい終了しようと考えていましたが、生徒の皆さんのやる気に応え、期間を5月末日まで延長することにしました。

一度達成してしまうと、次にしんどい時、つらい時に遭遇しても、「あの時にはできたんだから・・・」という自信につながります。やればできるのであって、やらないからできないのです。時間はあります。果敢に挑戦してみてください。達成できた人全員に認定証を発行しています。



(ふしぎ市でかよこバスを引く中広中生徒の皆↑)

プロに学ぶ勉強法

いよいよ連休が近くなってきました。出歩くこともいいかも知れませんが、またとないまとまった時間が確保できる時でもあります。そこで、プロフェッショナルからのアドバイスを紹介します。

お名前は青木 信之 教授(広島市立大学副学長で国際学研究科:英語研究学:コミュニケーション技法論→書くことのプロセス、特に外国語で文章を書く場合のプロセスについて、認知心理学的視点からの研究を行っておられます)です。以前にお話を聞く機会がありました。先生は、英語教育の専門家です。英語をモノにする方法をいろいろと伝授いただきました。そのお話の一部を紹介します。多くのご経験からのお話で、含蓄のある内容です。

♡ 集中力

英語ができる人は、必ずと言っていいほど、ほとんどの人が、できるようになるまでに「**集中した学習タイム**」を持った人であると言われました。すなわち、他の人よりも多くの時間を英語に費やしてきた人であるということです。実は、このことは単に英語学習だけに言えることではありません。好きなことに集中すること、脇目も振らずに全力で取り組むこと、こうした集中した経験なしには一定の力を身につけることはできません。まさに「学問に王道なし」です。

☞ 五感を使う

よく「時間がない」という人がいます。でも「時間がない」と言う時間はあるのですね。先人の言葉に、「忙中、閑あり」(忙しくて、全く暇のないはずの時も、たまには暇となる時間帯があるものだという意味)という言葉があります。「時間がない」という言葉を口実にして、本当は自分がやりたくない・したくない気持ちを公認・自認していることはないでしょうか。視覚・聴覚・触覚といった五感を使えば、机に付いている時だけが勉強タイムではないのです。やろうと思えば、時間も場所も工夫できます。

◇ きっかけを掴む

青木先生が英語の専門になられる勉強のきっかけは、学生の時代、京都旅行の時、英語圏からの旅行者から英語で質問された際、学校で習った英語で答えて通じたことだそうです。自分に「できないだろうなあ」という限界をつくって、自分の無限の可能性に自らフタをしているようなことはありませんか？。自分から勇気を持って一步踏み出すことがとても大切です。

☞ 使ってみる

学習(インプット)しても使わなければ(アウトプット)記憶は薄れていきます。私たちも自分の名前を覚えたり、学校で先生に教えてもらわなかったことでも知っていることがあるのは、このインプットとアウトプットを繰り返す中で記憶に「定着」させているのです。習うより慣れろということです。

☆ 朝の第一ボタンをはめよう

「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「すみません」は**オ・ア・シ・ス運動**の標語にもなっています。家庭で地域で学校で1日のスタートをきることばでもあり、**その日の第一ボタンにもなることば「おはようございます」の挨拶**が交わされる習慣をつけましょう。

就職活動(しゅうかつ:就活)での逸話があります。都市圏のある大企業の就職面接会場でのできごとです。入り口に立っていた年配の男性から声をかけられた学生がいました。「あなたはお帰り下さい」の一言。実はこの学生、全くあいさつをしないで会場に入ってきたことをとがめられたのでした。見も知らない人とはいえ、あいさつもできないような学生はわが社には採用できないとの話でした。事ほど左様にあいさつは人との出会いには欠かせないものです。抵抗なく「おはようございます」が言えるBODYを中学校時代から作っておきましょう。

お知らせ

☆ ふしぎ市って・・・フ・シ・ギ でした

先日の日曜日、横川ふしぎ市がありました。なんと、参加登録してくれた生徒は実に255名にのぼりました。当日は朝から天気も良く、主催者の方のお話によると、中学生の参加実数は登録数よりもっと多いこと、中学生の頑張りや明るい笑顔から地域が元気パワーをもらっているとのコメントをいただきました。

午後1時からは横川駅前では本校の吹奏楽部の生演奏がありました。多くの方が立ち止まって鑑賞していただきました。地域・保護者・学校の三者が手をつなぎ、その輪の中心に子どもたちを置いて、温かいまなざしの中で育つ中広中学校生というイメージが湧いてきました。それにしても、地域や参加者のパワーを全身で感じた市でした。

(吹奏楽部の演奏、思わず立ち止まる人も・・・⇒)



